

農林水産商工常任委員会資料

(令和8年1月21日)

項目	ページ
■ とっとりＳＤＧｓ企業認証制度における新たな企業認証について 【商工政策課】	2
■ 「Ｗｅｂ×ＩｏＴマイカーズチャレンジＰｌｕｓ　ｉｎ　鳥取」の成果発表会の開催について 【産業未来創造課】	3
■ 島根県東部を震源とする地震に係る県内企業の被災状況と支援状況について 【企業支援課】	4

商工労働部

とっとりSDGs企業認証制度における新たな企業認証について

令和8年1月21日
商工政策課

県内企業のSDGsの取組を、「社会」「経済」「環境」の3つの側面から評価し、県が認証する「とっとりSDGs企業認証制度」について、この度、新たに3社を認証し、認証書を交付する認証式を開催しました。

1 認証の概要

女性職人が活躍する小規模な塗装店、地域住民の生活を支えるエッセンシャルサービス事業者、地域共生型旅館を目指す宿泊事業者の3社が認証を取得し、社会・環境に調和して持続可能な企業経営に取り組んでいくことで企業価値を向上させ、社会から選ばれる企業・地域の推進役となっていくことを期待しています。

- ・公募期間：令和7年8月25日～10月3日 ・今回認証数： 3社
- ・認証日：令和8年1月9日 ・認証企業数： 48社（令和8年1月現在）

〈認証企業の取組の横顔〉 ※従業員数は令和7年10月時点

有限会社浦川塗装店（倉吉市、建設業、従業員11人）県中部を中心に外壁塗装、防水工事等を営む

- ・環境配慮型塗料の使用や洗浄水の再利用などで環境負荷を抑え、女性や高齢者の働きやすい職場づくり、次世代塗装職人の育成、リメイク缶（※）のワークショップ等を通じた地域との交流を進めながら、新規事業や営業範囲の拡大等も図り、持続可能な会社づくりに取り組む。
- （※）廃棄する缶などを、特殊な塗装技術によって経年劣化した風合いのアンティークな缶に加工するもの。

智頭石油株式会社（智頭町、卸小売業、従業員158人）石油製品・自動車販売、カーシェア等幅広く営む

- ・ノー残業デーや有給休暇の取得を促進して家庭で過ごす時間を増やしながら、ハラスマントが発生しない笑顔あふれる職場環境づくりを推進。燃料配送効率化やEVカーシェアなどで地域のCO2削減に貢献するとともに、生産性向上と新事業展開も図って、売上高100億円の実現を目指す。

株式会社橋津屋（三朝町、宿泊業、従業員28人）1716年創業の老舗旅館を営む

- ・客室や浴室等の整備を契機に、省エネ設備導入や地域人材の雇用拡大、観光需要への対応強化などで持続可能な旅館モデルの構築を目指す。また、地域共生型旅館として、地域の自然・文化・食材を活かした宿泊体験の提供や、安心して働くことができる職場づくりに取り組む。

2 とっとりSDGs企業認証 認証式

- （1）日 時 令和8年1月9日（金）13:00～13:15
- （2）会 場 県庁第4応接室
- （3）出席者 認証企業の代表者、平井知事
- （4）概 要 知事から認証書を交付後、各社から今後の意気込み、それを受けた知事からエールが送られました。



〈事業者の主な声〉

- ・環境と健康への配慮、地球に暮らす人への優しい施工を心がけ、たくさんの笑顔が未来に届いていくように社員共々頑張っていきたい。
- ・とっとりSDGs企業認証を道しるべとして、持続可能な会社の発展に取り組んでまいりたい。
- ・認証は、地域とともに歩んでいく節目、未来への責任を自覚した機会となり、多様な人材が活躍できる体制づくりを進めながら、「未来を創る企業」としてSDGsの実現に貢献していく。

3 今後の取組

認証企業には、社会課題をビジネスで解決する取組を補助金や低利融資で支援するとともに、活動内容の県内外への情報発信等による周知を図りながら、企業価値向上と持続可能な企業づくりを支援していく。

4 参考（とっとりSDGs企業認証制度の概要）

地域社会や自然環境を持続可能なものとしながら、将来にわたる事業継続・持続的発展を目指す県内企業の取組を「社会」「経済」「環境」の3側面から評価し、県が認証する制度として令和4年4月に開始。（都道府県単位では全国初）

認証対象	県内企業（県内に拠点を有し、主たる事業として営利事業を行う事業者）
認証者	鳥取県（認証の適否は、附属機関（外部委員）による評価等を経て決定する。）
審査項目	<ul style="list-style-type: none">・SDGs達成に向けて2030（令和12）年に目指す姿と、その推進体制・「社会」「経済」「環境」の3側面30項目についての取組状況と2030年達成目標の設定 → 3側面の各項目6項目以上、かつ3側面全体で21項目以上取り組めていることが必要
認証期間	3年（更新可能）
認証企業への支援	<ul style="list-style-type: none">・認証企業であることを対外的に示すことができる「とっとりSDGs企業認証ロゴマーク」の使用・補助金と奨励金により、SDGs推進のための社会課題解決に資するビジネス調査や実証経費の支援・長期かつ低利の県制度融資（新規需要開拓設備資金「SDGs特別枠」）や専門家相談への支援 など

「Web × IoT メイカーズチャレンジ Plus in 鳥取」の成果発表会の開催について

令和8年1月21日
産業未来創造課

学生や若手社会人等がチームを組んで、地域や身近な課題の解決に向けて実際にIoTシステムの開発に挑戦することで将来の産業人材の創出を図る、「Web × IoT メイカーズチャレンジ Plus in 鳥取」の成果発表会を開催しました。

※「Web × IoT メイカーズチャレンジ」は、総務省による全国事業として、平成29年度に開始したもので、令和2年度からは、本県の単独事業として継続的に実施しており、今年度で9回目の開催。

1 開催概要

- (1) 日 時 令和8年1月11日（日） 午後1時～午後5時
- (2) 場 所 鳥取大学 鳥取キャンパス 広報センター（鳥取市湖山町南4丁目101番地）
※風雪による荒天のため安全を考慮し、リモートを併用したハイブリッド開催とした。
- (3) 参加者 50名（高校生、工業高等専門学校生、専門学校生、大学生 等）
このほか、参加者に技術的な支援を行うため、社会人や教員等がメンターとして参加
- (4) 内 容 本年10月に本県で「ぼうさいこくたい」が開催されることを踏まえ、テーマを「IoTで解決！鳥取の防災に役立つモノづくり」とし、成果発表会の開催に先立ち、事前の講習会やチーム編成による開発内容の決定、製作活動を以下のとおり実施。
- [前半] 令和7年12月13日（土）、14日（日）の2日間（場所：鳥取大学 米子キャンパス）
Web標準技術を活用したIoT開発に関する実践的な講習会や、チームを組んでテーマに沿った開発内容を検討するアイデアソンを実施（1チーム6人程度で8チームを編成）。
- [後半] 令和8年1月10日（土）、11日（日）の2日間（場所：鳥取大学 鳥取キャンパス）
講習会で学んだ技術を活用しチームごとにIoTシステムの開発に挑戦し、成果発表を実施。
※チーム編成後の約1ヶ月間、各チームはメンターの協力も得ながらオンラインでソフトウェア開発やデバイス製作に必要な部品の選定などを行い、後半の2日間で製作を実施。

2 開催結果

- 〔最優秀賞〕 チーム名 ペット守り隊（作品名：まもるくん）
作品概要 地震や豪雨などの災害時、人命優先の避難となり飼い主とペットが離ればなれになる課題を解決するためのスマート首輪。首輪に心拍・体温センサ、GPSを搭載し、飼い主がリアルタイムにペットの位置情報と状態を確認できる。心拍上昇等のストレス兆候が出た場合、遠隔で振動を与え落ち着かせる機能を搭載。
- 〔特別賞〕 チーム名 Team-e（作品名：Safe kittty（セーフキティ））
作品概要 災害時に課題となる、情報伝達とメンタルヘルスケアのための猫型デバイス。デバイスとスマートフォンを連携し、位置情報や安否情報を確認。内蔵センサで表情を読み取り、不安やストレスを検知すると猫のLEDが多彩に変化し、実際の猫に近い動きで心理的な安定をサポートする機能を搭載。



3 参加者等の声

- ・多様なメンバーがいるチームで取り組んだことで、自分にはないアイデアに触れることができた。
- ・オンラインで進めている間は、チームのメンバーの存在が希薄に思えていたが、最後の2日間、みんなで集まって開発する中で、メンバーと協力して進めることができチームとしての活動ができた。

（審査員コメント）

- ・最近はAIでプログラミングもできるが、デバイスまで作る経験は貴重なものとなったのではないか。
- ・期限が迫るにつれて参加者の姿勢が変化していった。納期に間に合わせるという、いい経験ができた。

4 今後の対応

これまでの継続的な開催により、実践的な開発経験ができる事業として、県内教育機関と良好な連携がとれており、また、過去の参加者がメンターとして支援者に回るなどの好循環も生まれていることなどを踏まえ、今後も継続して事業を実施できるよう環境づくりを行っていく。

島根県東部を震源とする地震に係る県内企業の被災状況と支援状況について

令和8年1月21日
企 業 支 援 課

令和8年1月6日に発生した島根県東部を震源とする地震による県内企業等の被災状況と支援状況について、次のとおり報告します。

1 企業の被害状況について

現時点で事業活動への大きな影響は確認されていないが、一部事業所に施設・設備の被災が発生した。工場内天井の亀裂や業務用設備の故障、売り場商品等の破損、断水・水道水の飲用不可の影響により休業などの被害を確認している。

(被災事例)

市	企業名	主な被害状況 (写真は視察の様子)
境港市 (震度 5強)	千代むすび酒造(株)	倉庫内の出荷前の商品が倒壊 (1月9日平井知事視察先) 
	日新林業(株)	土地液状化の影響により、 倉庫搬入口に設置する吊り下げ ドアの開閉が困難 (1月10日平井知事視察先) 
米子市 (震度 5弱)	山陰酸素工業(株)	支店の外壁の一部の剥がれ落ち、事務所 内のクロス剥がれ。道路に液状化現象。 (1月10日赤澤経済産業大臣、平井 知事視察先) 

2 企業への支援の状況

専決予算により復旧支援を速やかに発動した。今後確認される被災の影響も想定し、幅広に事業者からの相談に対応していく。

(1) 中小企業特別相談窓口の開設 (1月7日)

店舗・事務所の再開、生産設備等の復旧、仕入・納品の遅延、資金繰り等の相談に対応 (設置機関:商工会議所、商工会連合会、中央会、信用保証協会、産業振興機構、県)。金融機関も窓口を設置済。

(2) 令和8年1月地震に係る補正予算 (1月9日知事専決)

○地震等災害企業復旧応援補助金 (予算額: 2千万円) の創設 <1/16受付開始>

施設、設備の破損などの被害を受けた県内中小企業等に対し、設備等の復旧・生産性向上、災害防護等の取組を支援する (電子申請のほか、西部総合事務所、同日野振興センター、中部総合事務所でも申込み可能)。

[補助対象事業] 被害を受けた施設、設備の復旧・生産性向上、地震被害等を防護するための取組

[補助率] 3分の2 [補助上限] 2,000千円/件 [受付期間] 令和8年1月16日～6月30日

※商工団体や事業者から複数の問合せあり

○資金繰り: 災害等緊急対策資金 (令和8年地震対策枠) の発動 <1/9受付開始>

設備等の被災又は売上減少など地震により経営の安定に深刻な影響が生じている県内中小企業等に対し、低利・低保証料の特別資金により支援する (各商工団体で申込み可能)。

[融資枠] 10億円 (当初6億円から4億円を増枠) [融資利率] 年1.63% (変動金利)

[信用保証料] 年0.23～0.68% (9区分) [受付期間] 令和8年1月9日～6月30日

[その他] 市町村が同資金を利用する県内中小事業者等の利子負担 (借換資金に係る部分を除く) に対し補助する場合、最長3年間、市町村の補助経費の1/2を県補助 (間接補助)

※金融機関から問い合わせあり